

# 取付説明書



## ディーズデコ インターホンカバー(埋込仕様)

このたびは Dea's Garden 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

正しく取付けをして頂くために、取付説明書をよくお読みください。

### 〈施工上のご注意〉

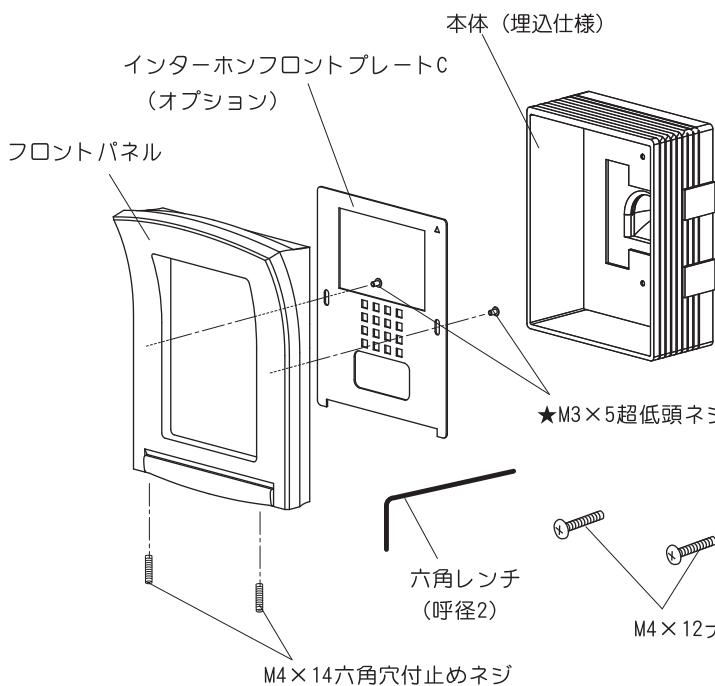
- ◆この製品は壁を仕上げる前に取付ける製品です。この取付説明書をよく読み、作業工程にご注意下さい。
- ◆取付け場所が通行の妨げにならないか確認してください。
- ◆取付けが不十分だと、使用中にはずれる恐れがあります。この取付説明書に従い確実に固定してください。
- ◆塩酸などの酸類で洗わないでください。変色の原因となります。
- ◆施工中はリシン、モルタルなどの材料がかからないようにしてください。塗装がはがれたり、変色する原因となります。
- ◆強い衝撃を与えないでください。変形やキズ付きの原因となります。

### △ 注意

超広角レンズを使用しているインターホンに取付けますと、画像の周囲にインターホンカバーが映る場合があります。

### 梱包明細表

- ・開梱時に部品の種類と数量をご確認ください。
- ・商品に異常がないことをご確認ください。



#### ■本体

名 称	数 量
フロントパネル	1
本体（埋込仕様）	1
六角レンチ（呼径2）	1
M4×14六角穴付止めネジ（セットされています。）	2
M4×12ナベ小ネジ	2
★M3×5超低頭ネジ	2
取付説明書	1
取扱説明書	1
保証書	1

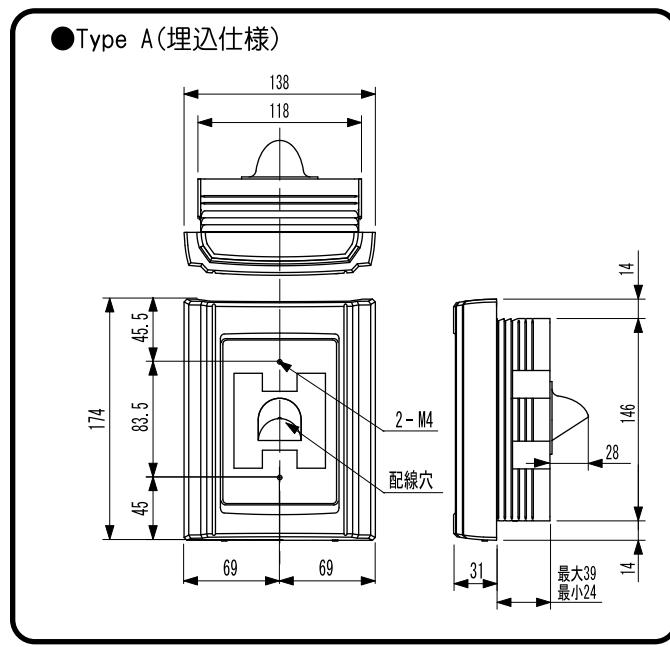
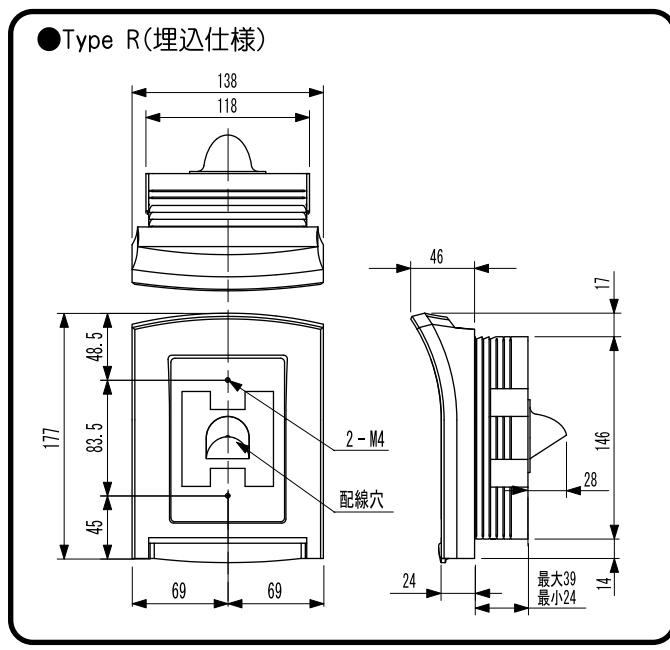
★印の部品はインターホンフロントプレートC(オプション)に使用する部品です。オプションを取り付けない場合は不要です。

#### ■オプション

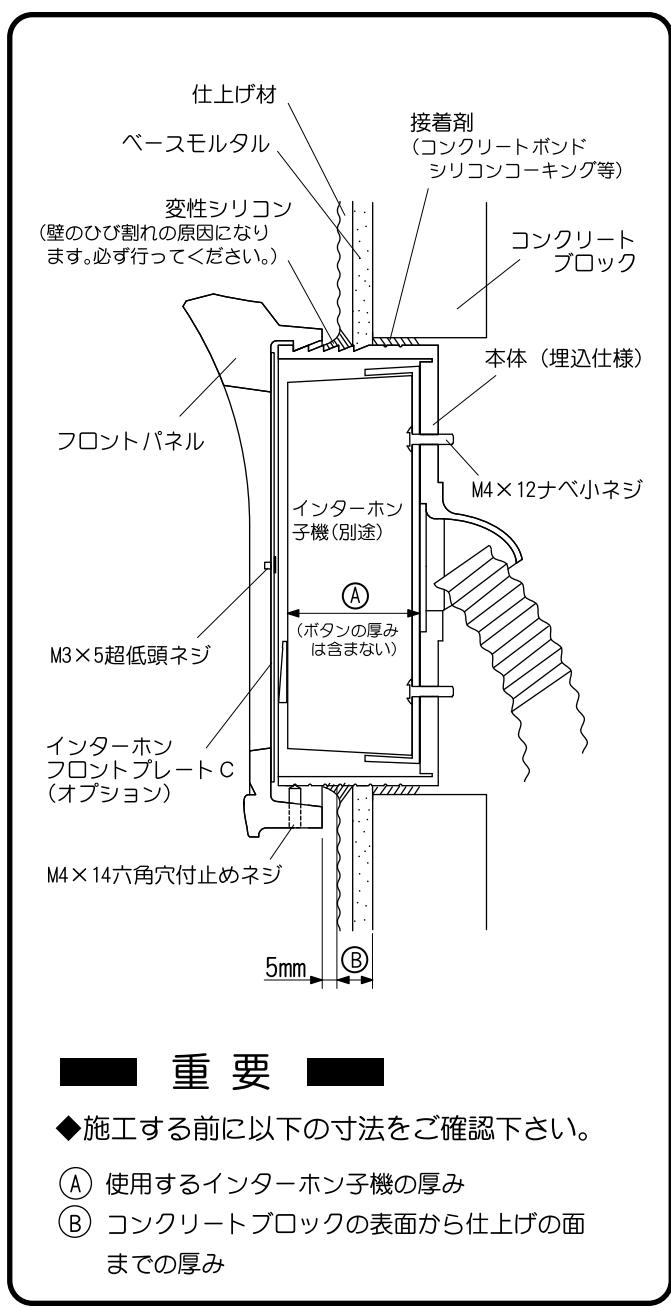
名 称	数 量
インターホンフロントプレートC	1

# ■ 製品寸法図/納まり参考図

## 製品寸法図 (単位: mm)



## 納まり参考図



### ■ 重要 ■

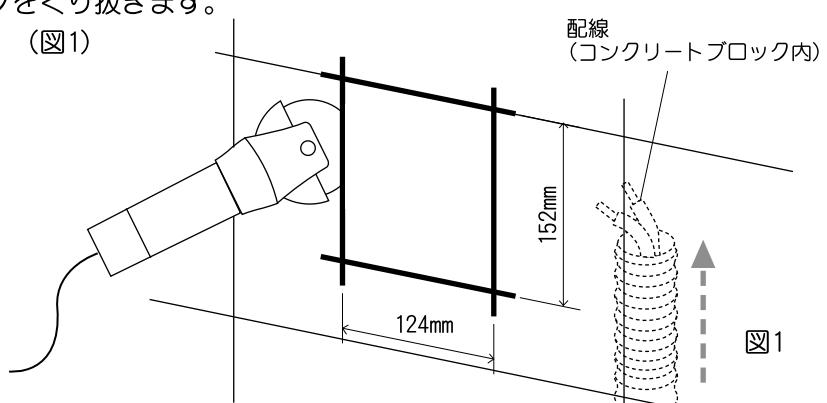
◆ 施工する前に以下の寸法をご確認下さい。

- (A) 使用するインターホン子機の厚み
- (B) コンクリートブロックの表面から仕上げの面までの厚み

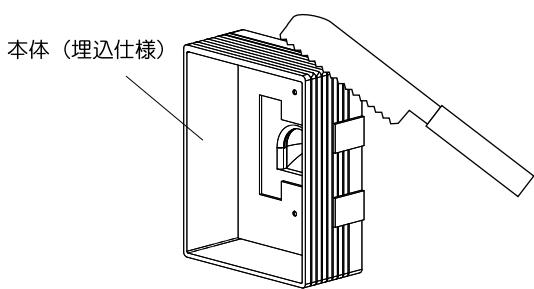
## ■ 取付手順

①取付位置を決定し、コンクリートブロックをくり抜きます。

配線は必ず事前に上向きに行って下さい。 (図1)



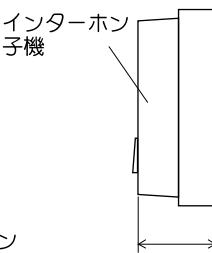
②インターホン子機の厚みに合わせて本体をカットします。（図2）切削位置については下記一覧表にてお確かめ下さい。



■本体切削位置一覧表

インターホン子機厚	切削位置
41～46mm	切削不要
36～41mm	①
31～36mm	②
26～31mm	③

※厚みが47mm以上、25mm以下のインターホン子機は取付不可となります。



※ボタンの厚みは含まない

切削位置 ①②③

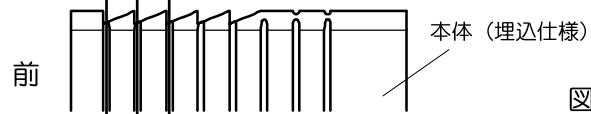


図2

※電動工具を用いてカットするのは危険です。

必ず手鋸等を使用して下さい。

※本体の切削は線に沿って丁寧に行って下さい。

③本体を切断した後、下面端部（切削面）より10mmの位置に水抜き穴を3箇所あけます。

（水抜き穴をあけない場合、本体の中に

水が溜まる恐れがあります。）

（図3）

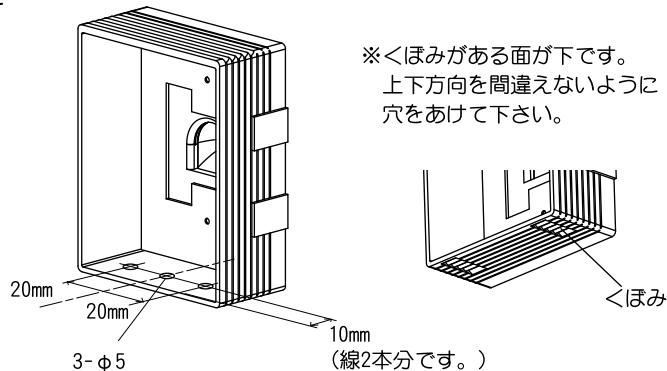


図3

④本体に電線を通して、壁の仕上げ予定位置より20mm出るように埋込んで下さい。

壁との隙間に接着剤を充填します。（図4）

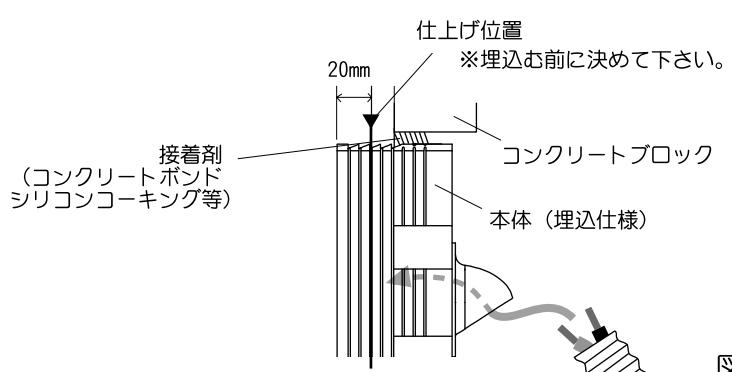


図4

⑤乾燥後、壁を仕上げます。（図5）

### ■ 重 要 ■

最後に必ず壁面との接合部に変性シリコンを塗布して下さい。（塗布しない場合、壁面にひびが入る恐れがあります。）

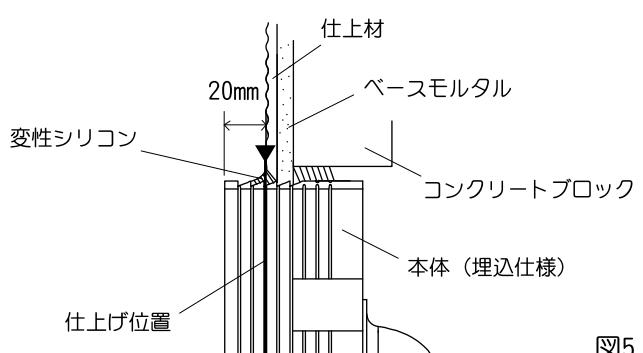


図5

⑥本体にインターホン子機を取付けます。 (図6)

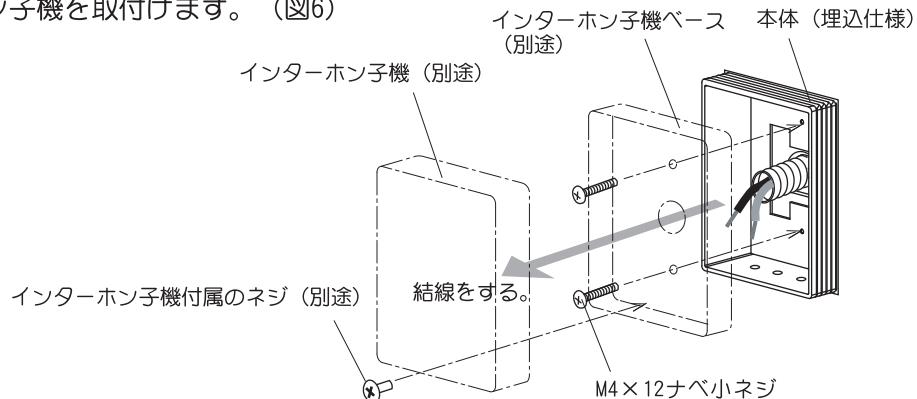


図6

### オプション

インターホンフロントプレートCをフロントパネルに取付けます。インターホンと重なるようネジで上下調整して下さい。 (図8)

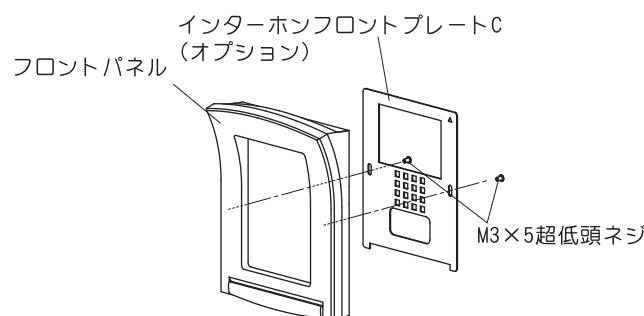


図7

⑦フロントパネルを本体に取付けます。 (図8)

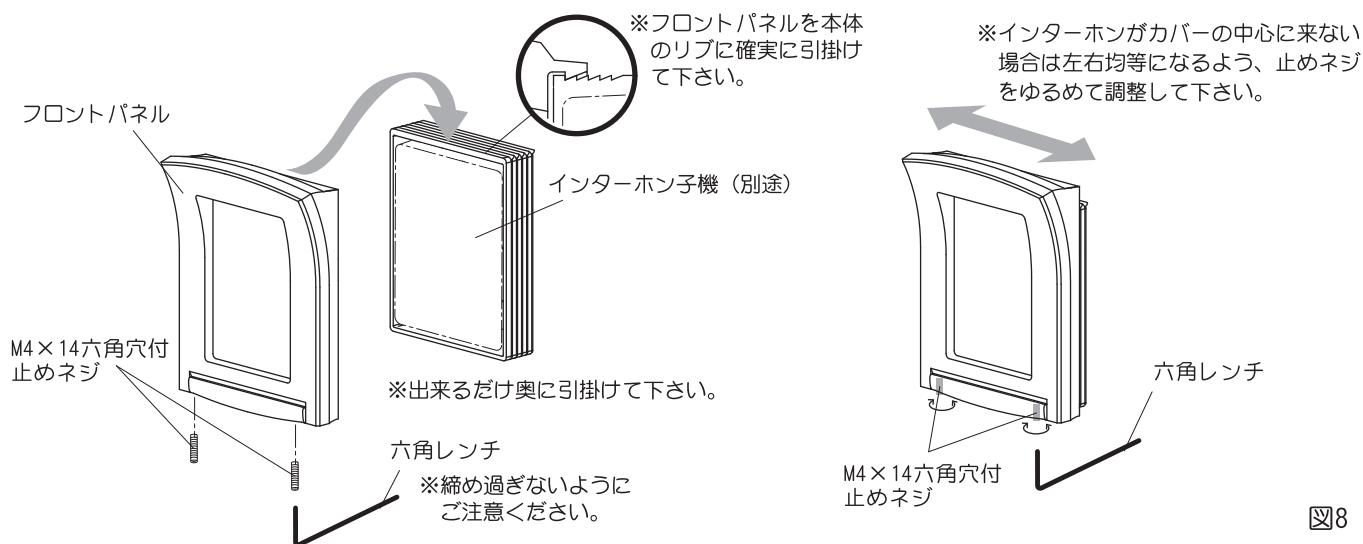


図8

### 工事店様へ

- 改造、変更はしないでください。
- 取付け終了後、ボルト、ネジ類の締まり具合を確認してください。
- 取付け終了後、インターホンでの通話に支障がないか、確認してください。
- 清掃は濡らした布でお拭きください。
- 汚れがひどい場合は希釈した中性洗剤を使用し、洗剤が残らないように拭き取ってください。
- 製品に腰掛けたり、乗ったりしないでください。けがの原因となります。
- シンナー、ベンジン等の溶剤のご使用は、絶対にお止めください。塗装に影響が出る恐れがあります。

